

平成24年度  
第一回がんピアサロン  
実施報告書

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

平成24年9月13日(木)実施

実施概要 .....	1
告知ツール チラシ.....	2
事前告知 .....	3
当日スケジュール .....	4
会場レイアウト .....	5
会場風景 .....	6
事後記事 .....	7
アンケート概要 .....	8
アンケート集計結果.....	9-11

1. 目的:がんについての悩みや不安を語り合い、気持ちを共有し情報交換することで気持ちが楽になれる分かち合いの場として開催
2. 日時 : 平成24年9月13日(木)  
午後2:00～午後4:00
3. 場所 : 沖縄県庁 1階 県民ホール
4. 参加費 : 無料
5. 対象 : がん患者、家族・遺族、または医療関係者など関心のある方
6. 主催 : 沖縄県地域統括相談支援センター
7. 後援 : 琉球大学医学部附属病院がんセンター

■チラシ（A4片面フルカラー）  
※修了者・県内患者会や医療機関に配布

沖縄県地域統括相談支援センター主催  
後援：琉球大学医学部附属病院がんセンター

がんと共に生きる患者さんたちが  
語り合う場所

「がんピアサロン」  
を開催します。

がんに苦しみ、不安を感じて生活される方やそのご家族が集う場として「がんピアサロン」を開催します。

同じような立場の人による支援は気持ちの共有や現実的なアドバイスができるなど様々なプラスの面があります。

「誰に相談していいかわからない」、「頭の中が真っ白・・・」、「家族ががんで、どう接したらいいかわからない」、「同じ病気の人と話がしたい」そんな悩みを話し合う交流会です。

「がんピアサポーター基礎講座修了者」が対応します。この機会にどうぞお気軽にお越しください。

※診断や治療について判断するところではありません。

**開催概要**

●開催日時 平成24年9月13日(木)14:00～16:00

●場所 沖縄県庁 1階 県民ホール

●対象 関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。  
がん患者さんやその家族・遺族、または関係者、医療関係者など、特に限定はしていませんのでご自由にご参加下さい。

●参加費 無料・申込不要

●参加に際しての留意事項

- サロンの中での話は口外しない
- 宗教や政治活動は行わない
- 特定の治療やサプリメントなどを推奨しない

お問合せ先： 沖縄県地域統括相談支援センター  
琉球大学医学部附属病院内

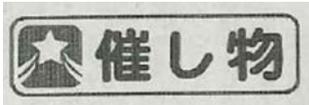
☎：(直通) 098-942-3407 (代表) 098-895-3331 (内線4358/4359)  
fax：098-942-3408 e-mail：to-katsu@jim.u-ryukyu.ac.jp  
URL：(がんセンター) <http://www.ryukyucc.jp> (沖縄県がん診療連携協議会) <http://www.okican.jp>

1. テレビ・ラジオ

- (1)NHK沖縄 2012年9月6日(木) 朝・昼ニュースにて記者会見の様子が放映
- (2)FM21 2012年9月6日(木) 11:00~ センター相談員上原が出演、イベントの告知
- (3)FM沖縄 2012年9月11日(火) 情報番組「Fine!」番組内にて告知

2. 新聞・その他パブリシティ

- (1)琉球新報 2012年9月7日(金) 「読者ひろば」イベント欄掲載
- (2)琉球新報 2012年9月8日(土)掲載



◆がんピアサロン (県庁1階 県民ホール) 13日(木) 14時~16時、内容=がんに関する悩み相談や情報交換のための交流サロン。当事者が対応する。対象=がん患者、家族、遺族、関心のある方。参加無料、申し込み不要。☎098(942)3407 県地域統括相談支援センター

がんの悩み語り合う  
13日、県庁でピアサロン

「がんピアサロン」(県地域統括相談支援センター主催)が13日午後2時から4時まで県庁1階県民ホールで開催される。同サロンは、がん経験者のがんピアサポーターが、がん患者やその家族らの相談に乗るほか、参加者同士が共通する悩みを語り合う。遺族、医療関係者ら関心のある人は誰でも参加できる。

同センターがんピアサポーターの上原弘美さんとスタッフの



13日に開催する「がんピアサロン」の来場を呼び掛ける県地域統括相談支援センターの上原弘美さん(右)と島袋香織さん=5日、県庁記者クラブ

島袋香織さんが5日、県庁記者クラブで会見し「がんピアサポーター3人が対応する。病院では聞きづらいがんの悩みでも、サロン形式ならどんなことでも気軽に話せる」と来場を呼び掛けた。

同センターは昨年、がん経験者を対象に、がんピアサポーター養成基礎講座を開き、16人が修了している。「がんピアサロン」は無料で申し込みも不要。問い合わせは☎098(942)3407、同センター(月~金)。

- (3)沖縄タイムス 2012年9月12日(水)掲載

県地域統括相談支援センターは、がん患者や家族同志が悩みや不安を共有する「がんピアサロン」を13日午後2~4時に県庁1階ホールで開く。参加無料。

参加者が悩みを語り合うとともに、がん治療経験者の「がんピアサポーター」が治療や経済面など、患者の悩みを聞く。

ピアサポーターは医療専門家でないため診断や治療の勧めはしない、サロン内の会話は口外しないなど留意事項がある。患者、家族以外の参加も可能。

同センターの上原弘美さんは「病院に行きにくいという人も気軽に参加できるように都市部で開催する。ぜひ足を運んでほしい」と呼び掛けた。

問い合わせは同センター、電話098(942)3407。

**あす がん相談会**

県庁1階ホール

- (4)レキオ 2012年9月13日(木)“あまくま情報局”掲載

**インフォメーション**

◇がんピアサロン 13日(木)14時~16時  
県庁1階県民ホール 無料 内容=がんに関する悩み相談や情報交換のための交流サロン。同じがんに経験した方が対応します。  
☎098(942)3407 [県地域統括相談支援センター]

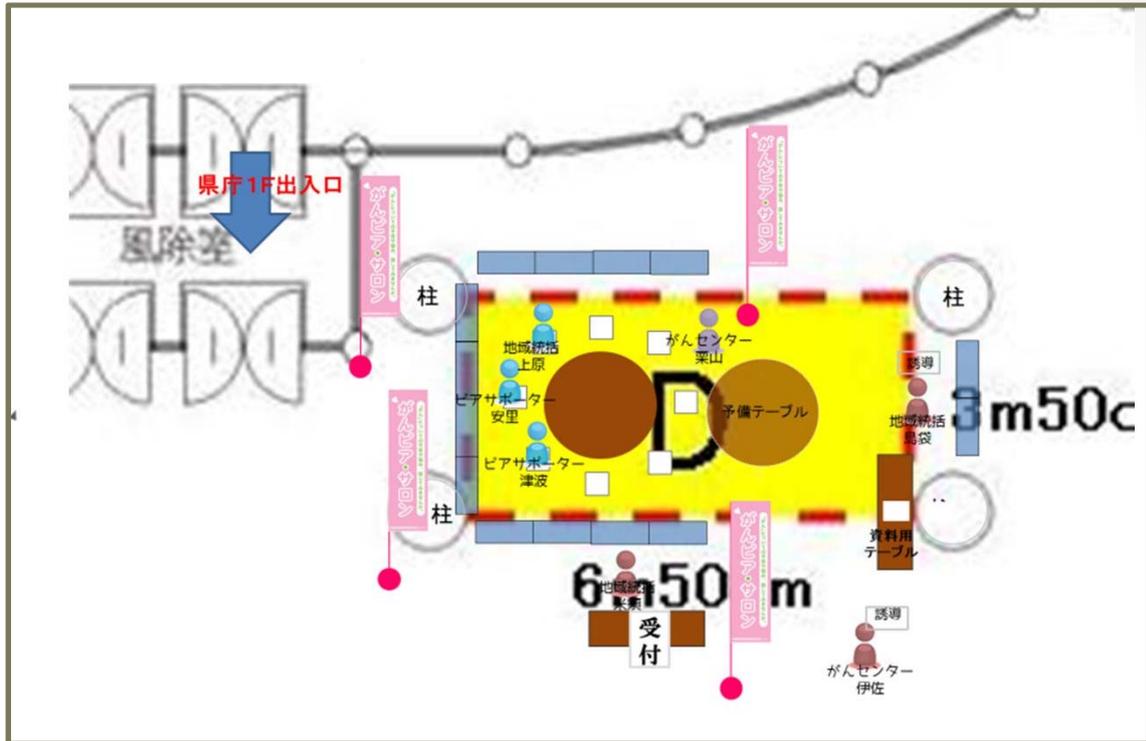
(時系列順)

開始	終了	時間	内容
11:00	12:00	60	スタッフ(上原・島袋)会場入り 会場設営 パーテーション、テーブル、椅子の配置
12:00	13:00	60	がんセンタースタッフ集合 会場設営 ・ 情報コーナー(冊子の配置、パネル展示)
13:00	13:50	50	ピアサポーター集合 事前打ち合わせ( スタッフ紹介 ・ サロンの流れ ・ ピアサポート活動の注意点 ) 13:30 栗山先生会場入
13:50	14:00	10	受付(米須・渡嘉敷) ・ 参加者名簿に名前、住所の記載依頼 ・ アンケート(事前)配布 ※遅れて来た方は、受付にて記入 ・ アンケート(事前)記入のお願い ・ 早めに来た方の対応
14:00	16:00	120	がんピアサロン開始
16:00	16:10	10	がんピアサロン終了 ・ アンケート(事後)記入のお願い、アンケート回収
16:10	16:20	10	撤収・後片付け
16:20	17:00	40	反省会:ソファー ・ ピアサポーターへの「アンケート」、「振り返りシート」を基に振り返る

\* サロン参加者26名:男性10名・女性16名

ピアサポーター2名:男性1名・女性1名

## ■会場レイアウト



## ■設営資材(レンタル)

項 目	摘 要	数 量
設営資材		
ヴァンティアンパネル	H2100×W900 ポール210	14 枚
テーブル	1800×450	2 台
円卓		2 台
折り椅子		10 脚

## ■製作関連

項 目	摘 要	数 量
制作関連		
パネル制作	B2出力 イレパネ	1 枚
のぼり旗	1800×500 2色	4 枚

▼ 受付  
地域統括相談支援センター・相談支援  
センターのポスター展示



▼ ピアサポーター事前打ち合わせ  
安里安雄さん(左)、センター相談員 上原弘美  
(中央)、津波秀子さん(右)



▼ 資料コーナー



▼ 受付風景



▼ サロンの心得の説明



▼ サロン風景



▼ サロン参加者(アンケートの記入)



▼ サロン参加者(資料コーナーにて)



●沖縄タイムス 平成24年9月15日(土)掲載

## がん経験者が悩み手助け



県地域統括相談支援センター主催の「第1回がんピアサロン」。患者らの話に耳を傾ける、ピアサポーターの津波秀子さん(中央)＝13日、県庁ロビー

# 心の不安を共有

## 患者、家族向け初のサロン

がん罹患経験のある「ピアサポーター」を育成し、がん患者や家族の相談業務に当たる県地域統括相談支援センター(西原町)主催の「第1回がんピアサロン」が13日、県庁1階ロビーで開かれた。診断や治療を判断するのではなく、心の不安を語り、共有し合う同サロンに、30人を超える患者や家族が参加。医師や家族には言いにくい、病気や治療への不安や悩みを語り合った。

この日は同センターの「ピアサポーター基礎講座」を修了した安里安雄さん、津波秀子さんが来訪者の話に耳を傾けた。津波さんが「サポーターと言っても、私は皆さんの同志だと思っっている。皆と一緒に問題の解決を考え、話し合いたい。今、何が一番不安ですか」と切り出すと、参加者が次々と語り始めた。抗がん剤の苦しみ、病後に襲う不安、高額な治療費、病院で医師には聞きづ

らいことも、素直に語り合える雰囲気をつくられていた。ピアサポーターは時折「前向きにやっていることとは」「こだわらず、笑ってリラックスしてみれば」などと優しく話題を転換していた。

「病気への偏見など、その地域ならではの悩みもある。各地でサポーターを育成し、サロンが増えていくてほしい」と期待を込めた。

同センターは琉球大学医学部付属病院内に設置。誰でも無料で相談可能。問い合わせは☎098(942)3407、FAX098(942)3408。

### 1. 目的

当センター主催におけるサロンの内容の質の向上及び改善等を推進するため、また、当センターの評価に必要な資料の収集のため、参加者を対象としたアンケートを行った。

### 2. 内容

#### (1) 参加者属性

年齢・性別・お住まい・お立場

#### (2) サロンの参加について

サロン認知経路・参加動機

#### (3) 参加前と参加後の気持ちの変化

サロン参加前の気分・サロン参加後の気分

#### (4) サロンの内容について

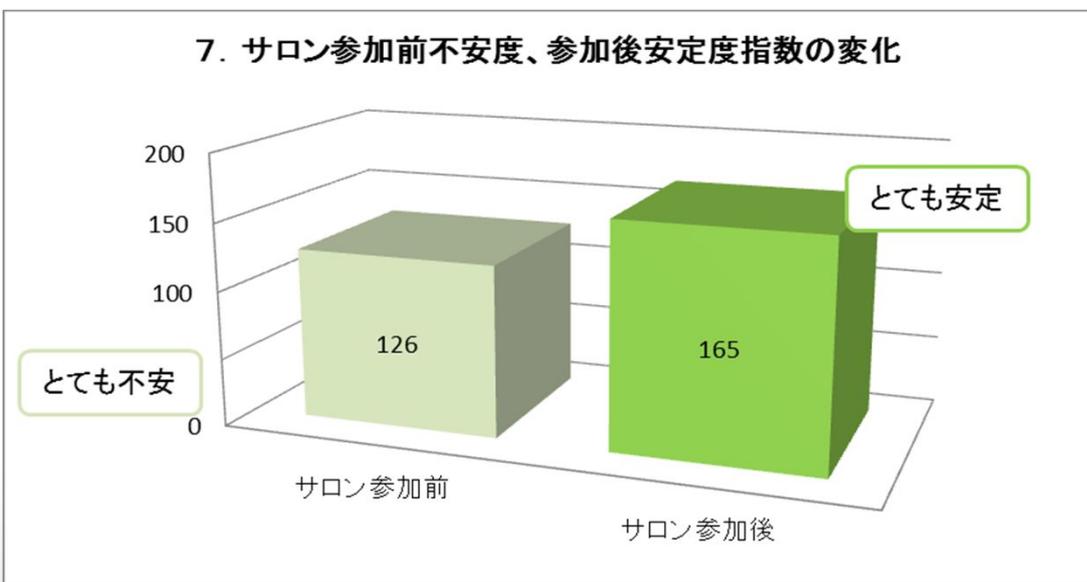
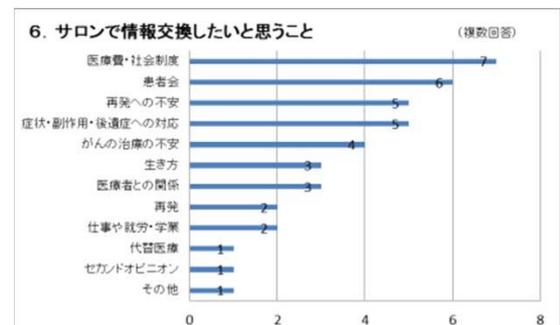
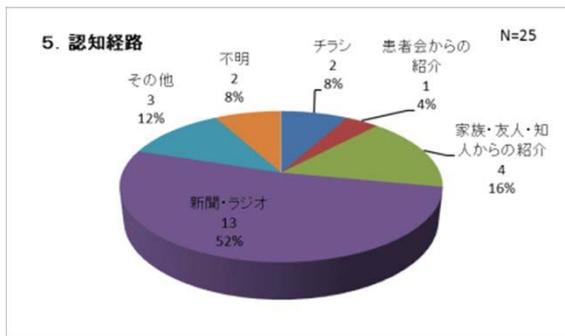
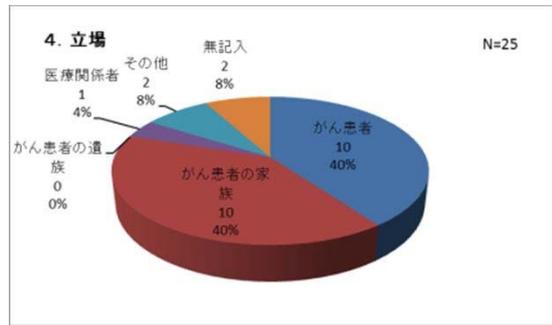
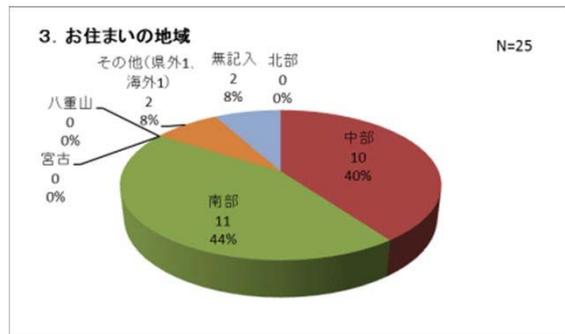
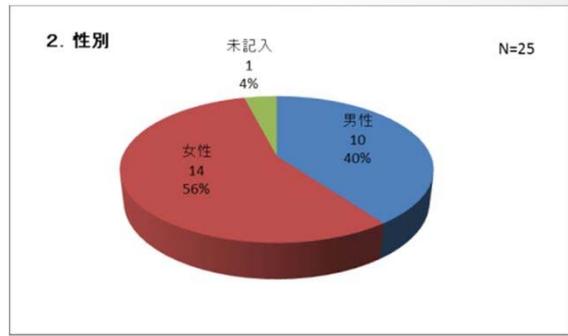
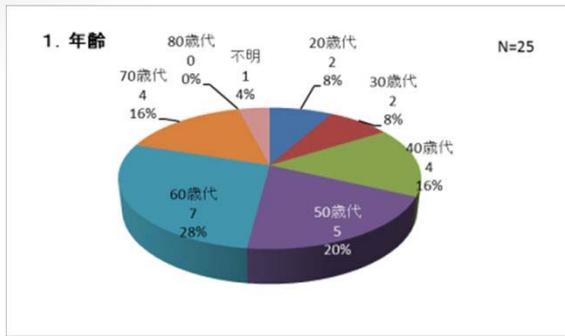
サロンの評価・満足度 等

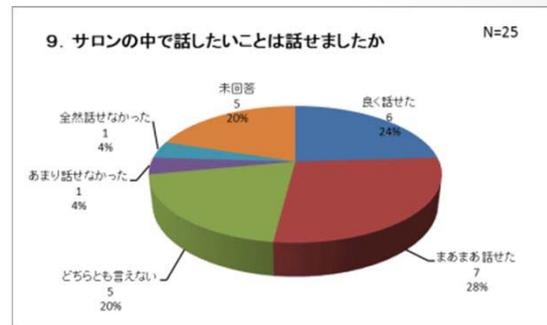
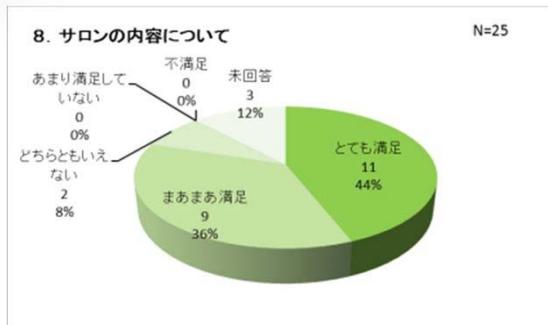
#### (3) 意見・感想 等

### 3. 調査方法 紙媒体によるアンケート

### 4. 調査対象 参加者全員

### 5. 実施日 平成24年9月13日(木)

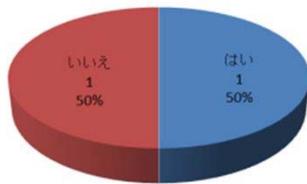




## 10. 自由回答

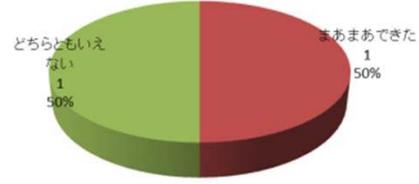
- これからもがんについて情報交換をしたいと思います。(40代男性、がん患者の家族)
- 大変参考になりました。(70代女性、がん患者の家族)
- みなさんのお話を聞けて、本当に良かったです。私一人だけで、苦しかったです。沖縄にもどれたら、どんなにいいだろうと思ったりします。苦しいです。また是非参加したいと思います。ありがとうございます。(50代女性、がん患者の家族)
- 楽しく参加できました。笑いがあるっていいですね。これからもがんばって下さい。(50代女性、がん患者)
- 細かく人の病気のこともきけました。笑いもあって楽しかったです。一人で悩みをもつのではなく、はき出して、気持ちを気楽にすることがわかりました。(50代女性、がん患者)
- 月1回とか、2か月に1回と決めて集まりましょう！お茶がほしかったです。(不明)
- 今日は初めて参加して、とてもよかった。次の機会もまた参加したいので、よろしくお願いします。(60代女性、がん患者)
- また参加したいと思います。(30代男性、がん患者の家族)
- また参加したいです。(60代女性、がん患者の家族)
- 初めてなので、公共空間より室内希望します。(60代男性、がん患者)
- 身近に色々な話が聞け、笑いがあり、みんな笑顔なのがびっくり・・・でもホッとしました。(60代女性、がん患者)
- みなさんの意見を聞くことが出来て安心しました。病院に行くのもどこの病院に行ってもいいかわからなかったのが良かったです。(70代女性、不明)

1. 現在、患者会やピアサポート活動等を行っているか



N=2

2. サロンでピアサポーターとしての留意点を意識しながら支援できたか



N=2

3. サロンの進行は思うようにできたか



N=2

4. 今後どのようなことを学びたいか

- 社会資源について、精神腫瘍医学、緩和ケアなど(60代女性)
- ロールプレイ、ピアサポート活動実践、患者会やサロン運営について(60代男性)

5. サロンでの活動を通じての感想

- これでよかったのかと不安になったり・・・こう話せればと後悔したりでした。でも一歩前に歩き出した思いです。これからも指導宜しく願います。

## ○ まとめ

今回、患者さんご家族のための交流及び「がんピアサポーター養成基礎講座」修了生の活動の場として第1回「がんピアサロン」を開催した。

開催に向けラジオ、テレビ、新聞や患者会、医療関係機関などへの告知等により26名の方が参加され、動機として医療費や社会制度について、副作用対策、不安や悩みの解消などを求める声が多くあった。サロン終了後のアンケート結果ではサロン内容について「とても満足」「まあまあ満足」と7割の方が回答している。また、参加前後の不安指数を比較すると39ポイントも上昇したことからサロン参加によって不安の軽減につながったと考えられる。

また、参加者の方からは定期的開催の希望も多く、ニーズが高いこともわかった。

サロン内では、ピアサポーター2名が中心となり、参加者が自由に話しができるよう進行役を務めた。

ピアサポーターのアンケート結果では「ピアサポーターとしての留意点を意識して支援できたか？」の問いに「まあまあできた」「どちらともいえない」の自己評価ではあったが、参加者の満足度が高いことからピアサポーターとしての役割が果たせたと評価できる。

サロン開催のニーズも高いことから、今後もピアサロンの開催とピアサポーター活動支援を継続的に行っていく必要がある。